

<地名の由来>

現在横浜市港北区日吉本町二丁目にある金蔵寺(こんぞうじ)。この寺の裏にあった日吉権現にちなんで名づけられたと言われています。

金蔵寺の歴史は・・・平安時代の貞観年間(859年～876年)に清和天皇の勅願により智証大師が創建したと伝えられる。そして本尊は(注)天台宗第五代座主・智証大師(ちしょうだいし)作と伝えられる大聖不動明王(だいしょうぶどうみょうおう)である。さらに江戸時代には寛永寺の末寺として栄え、徳川将軍家の庇護の元、江戸幕府初代と二代将軍である徳川家康・秀忠父子により梵鐘が寄進され現存している由緒ある寺である。

